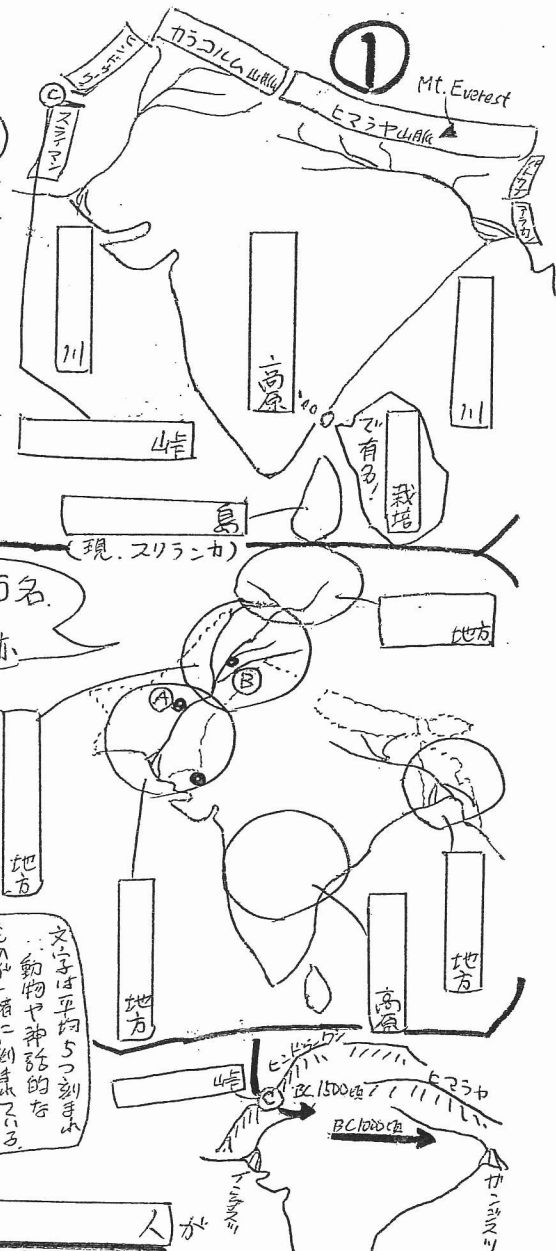


古代インド史

地形



文明 BC 年頃 インダス川中下流域を

中心に広がるインド最古の都市文明。

彩文土器や 器(銅)が出土し、メソポタミア文明の影響あり。

＜特色＞

① 人 インダス文明の創設者?! インド先住民の1つ。民族系統不明。現在は南インドに分布。

② 計画都市 代表遺跡

(A) (インダス川下流)(地図上画)

(B) (インダス川中流)(地図上画)

... 東西南北の大通りで整然と区画され、家屋や街路にこれほど幾何学的なデザインを用いた古代文明はない。
城塞の大沐浴場では、お清めの儀式が行なわれ、隣接する穀物倉には、周辺から小麦などの農産物が納められていたのでは... 活発な交易センターであったことは出土品からも分かる。

③ 文字(象形文字)

遺跡で出土した、多数の 刻まれている。

但し、文字は未解読!!



文字は平均5つ刻まれ、動物や神話的なものが一緒に刻まれている。

④ 自然崇拜... 太陽神スールヤ、雷神インドラ、火の神アグニなど。

★ 滅亡は?... 河川の氾濫や流路変更など。

「ヴェーダ」時代 BC 年頃 語族の 人が

ヒマラヤ山脈南部の (地図上画) が 「パンジャーブ地方」に侵入。

馬と戦車で先住民を征服。BC 年頃には、 器をもって 川へ!!

＜社会＞ 王() → 部族 → 都市 → 小国家 → 階級分化

＜宗教＞ 教 少数の白人アーリヤの純血を、黒色のインド土着民から守るために起こす。

① 聖典 は、自然を神として拝み、神々への賛歌を収録。(リグ)

→ 最古の聖典は

00 ヴェーダ(40種類)は4種類ある。「サーマ・ヴェーダ」「ヤジュル・ヴェーダ」「アタル・ヴェーダ」「ヴェーダ」

② 制(階級身分制度)

インドでは、 (生まれの意)という。

ポルトガル語の「カステラ」(血族)に由来する。
(皮膚の色)

1. 僧侶... 最上のヴァルナ。ヴェーダを教習し、祭式など、特権あり... 世襲的権力を握っていた。
2. 武士・貴族... 政治、軍事の支配層。その頂点は王。権力(クシャトラ)をもつ者の先... 王の権限は、すべてバラモンの儀式の効果とされ... の5不満!!
3. 庶民... 第3位のヴァルナ。農民や商人。
4. 奴隷... 最低のヴァルナ。

特徴 ① 職業身分は固定 「カシャの息子はカシャ、クシャの息子はクシャ」

② 内婚制(異質カースト間の通婚禁止)

混血児が生まれたときは、両親のヴァルナに階級なく、(1)より低いヴァルナに属した。みずから低階級に決った。... 純血こそが尊いのだ!

ヴァルナは、アーリヤ人が先住民を人種差別する標識として生まれ、インド社会に定着した。... 現在のインド憲法(1950~)では、これを差別と否定しているが、今なお約3000のジャーティがあるとされ、現実には強く残存、問題となっている。

▶ BC 800年頃、農業・商業の発達と共に、16ほどの小国家が成立。

その中で、あいかわらずの伝統重視のバラモン支配社会への不満が!!

★クシャトリア、ヴァイシャが不満!! {実力が高まり、バラモン顔に満足できない、気遣い!}

→バラモン教反省??

哲学 (奥義書)

①

宇宙(ブ्रフマン)に、人間(アトマン)は

消滅する(一体となる)!!

②

生物は永遠に、現世で得た善悪に

応じて、死と再生を繰り返す!!
... 仏教に影響を与える。

19C.
ドイツ観念論
哲学者の
このイニチエーションの影響を受け、
厭世哲学を
説いた。

結局はバラモンの優越を認めたものだった。

③ このような、バラモン教のカースト(ヴァルナ)に反対する宗教が、BC 500年頃誕生する!!

①

教

族の 国の王子

ジャカ族の賢人の説

・創始者

撤底した 観に立ち、

全2の生命は平等に
常に変化し、必ず滅びるもの
... と考えれば、苦しみを
解脱できる!!

よく行えば生老病死の四苦を克服できる。

... 再び人間に生まれ変われる!! →

解脱の経路で永遠に
生命は生まれ変わる!!

解脱を克服するための八つの徳目、
正見、正思、正語、正業、正命、正精進、正念、正定
(人生苦を超越することと解脱という)

② クシャトリア、ヴァイシャに支持された。

「天上天下唯我独尊」と言える生まれ、
城外に出た29歳のとき、
四苦「生老病死」が
のがれられないものか疑問。
出家する。... 修行6年その非を悟り、
ブッダガヤにて 悟りを得た。
サルナト(現バネラス)から布教を始め、
80歳 沙羅双樹の下に
横たわり入滅。
... 彼の遺骨(仏舎利)は、いくつもの
に納められている。
サンチのものが有る!

②

教

貴族(クシャトリア)の生まれ

・創始者

同じくカースト制を否定し、

(尊称、マハーウーラ)

と 主義による解脱を説く。... 階級に支持された。

▶ BC 5~4C. ガンジス川流域に、多くの小王国誕生。

中でも、北の 国と南の 国は強力だった。

その頃を伝える古代インド大叙事詩がある。

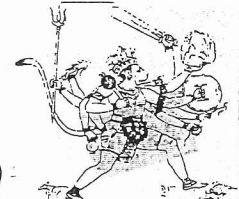
11-12世紀の戦記叙事詩

コーサウ国のラマ王子の

と『』である。(のうけつり朝期に
現在の形になる)

その他、十進法の基礎である

がBC 2C頃成立。のちアラビアに伝
わった。



遠征の図力「ラーマヤナ」の場面。

マガダ国は、BC 500年代、マギアネス朝ハルシアに西にインド(インダス川)を押し進め、インド統一はならず。

その後、BC 326年頃 王が10-12-13地方を平定、

その混乱に乗じて、インド史上初の統一王朝が誕生した。



⑦

朝

(古地名A)

(孔雀朝)

1代目

元マガダ国将軍、アレクサンドロス侵入に乗じて、
マガダ国 朝を倒す。... 残部ギリシア勢力を打ち倒し、
むしろコシ朝シリカアアアガスタン
獲得。

3代目

(阿育王)

カリニガを滅ぼし、南端を除く全インド統一!!

→ カリニガ戦争の衝撃を契機に、仏教に帰依!

①

仏典の編集事業。

②

布教に、王子 を使い、 島に(小)仏教を伝えた。

③

各地に、中央に 国境に 各地、タラマ(法)を刻みつけた。

④ アショーカ王以後、カイバル峠から異民族侵入

前3世紀にマガダ族
バクティヤのササニヤ
イラン系クシャトリア人等

▶ 仏典結集
「けつじゅう」とか「けちじゅう」とよびな
らわされている。釈迦の死後、教えの散逸を
防ぎ、異説の生じないよう、経典・教義の整
理を行った編纂事業で、4度の結果が知られ
ている。第1回は、仏教(釈迦の死)直後(前
5世紀前半)、第2回は、仏教後100年(第3回
はアショーカ王のとき)、第4回は2世紀中ごろ
カニシカ王のとき(約E 62)行われたと伝
えられている。

ちょっと **仏教のはじまり**...

①誕生

創始者 []
 尊称(釈迦牟尼)



...仙人云く、理想の帝王になるか、それとも世を救済に...
 ママやが産む産家に里帰り...の途中ルンビニ(現・世界遺産、仏教聖地)の花園で
 生まれる。七歩歩くと大地を踏む。
「天上天下唯我独尊！」
 世の中で我より尊いものはない...
 と思われ(笑)ているが、本当は...
 「世の中でみんなそれぞれ、かけがいのない
 尊い存在である！」と釈迦は
 云っていた...
 天
 地

②動機

...29歳 - はじめて城門をくぐった!
 すると...
 シャカ族
 カピロウ国の
 王子

東門 — 老人 → []
 南門 — 病人
 西門 — 死者
 北門

全このものは、
 美しさも永遠に
 とどめることはできない
 ... 儚りやくもの。

人は生老病死を
 (= [] と云う)

四苦 かなしみ、苦しみのこと。
 ... 北門を出た一人のバラモン出家僧に会い、

出家

⑤ちょっと仏教ポイント

は、しう、どう
八正道 とよく行えば、

四苦からは逃れられはしないが、
 それを克服することはできる。

※人生を超越(克服)すること

[] と云う

ほか 輪廻転生の教えなど

※時間が許せば、手塚治虫の作品「フツダ」
 とみて読んで下さい。

③修行

...バラモンの修行僧と
 6年の修行苦行...の結果...

→ 極端な苦行も、快樂もダメ!
 (中道 と云う)

フツダガヤの
 菩提樹の下、49日間の
 観想(一心に思いこむこと)の末

ついに悟る → [] 悟りを
 得たもの

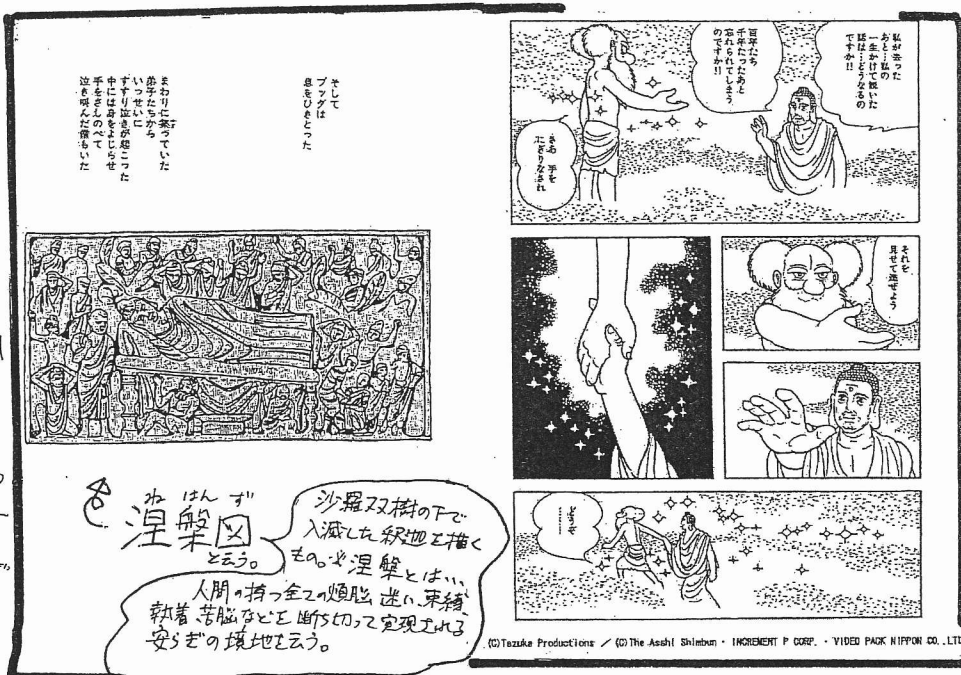
その後、釈迦は多くの弟子を従え、
 バナレスから以後45年間、インド各地を布教。

④入滅

歳80の頃、
 クシナガの
 沙羅双樹の下で
 横たわり **入滅!!**

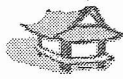
なぜ涙を流すのです...
 無常と教えたでは
 ないですか。
 私にも例外ではありません。

諸君、
 無常の
 理を
 悟る
 には
 修行
 が
 必要
 だ
 ん
 だ
 ...
 平家物語、冒険文



涅槃図

沙羅双樹の下で
 入滅した釈迦を描く
 もの。涅槃とは、
 人間の持つ全くの煩悩を断り、
 執着、苦悩などを断り切って実現される
 安らぎの境地を云う。



天上天下 唯我独尊
(てんじょうてんげ ゆいがどくそ
ん)

お釈迦様の言葉に「天上天下
唯我独尊」という言葉がありま
す。

ふつう、唯我独尊というと「世の
中で自分ほどえらいものはいな
い」という意味で使われますが、
本来はそうではありません。

それでは、本当はどういう意味
なのでしょう。

明治36年生まれ、26歳の若さ
で亡くなった天才童謡詩人、金子
みすずさんの有名な詩に次のよ
うなものがあります。

NHK
みんなの
うた
で
放映
してね。

『私と小鳥とすずと』
‘わたしが両手をひろげても、
お空はちっともとべないが
とべる小鳥はわたしのよう
に、

地面をはやくは走れない
わたしがからだをゆすっても、
きれいな音はでないけど、
あの鳴るすずはわたしのよう
にたくさんな歌はしらないよ。
すずと、小鳥と、それからわ
たし、みんなちがつて、みん
ないい

お釈迦様のいう唯我独尊とは、
この世の中で、みんなそれぞれ
にお互い自分というのは、かけが
えのない尊い存在であり、かけが
いのない尊い命であるということ
です。

‘みんなちがつて、みんないい’
お互いにみんなそれぞれ尊い存
在です。お互いの違いを認め理
解し合うことが大切です。



まんぢら
曼荼羅
(=曼陀羅)

サンスクリット語の
maNḍalaに由来。
仏教において
仏の悟りの境地を
仏像、文字などを用いて
描くもの。
幾何学的構図が
多く仏は正面向定。
チベット僧などが
その修業のために
描いたりしている。

★ アショーカ王の死後、マウリヤ朝は急速に衰え、
インドは小国分立の混乱状態となった。

① [] 朝 (アーンドウ朝)

(前1C ~ 後3C初)

デカン高原が中心

[] 人が南インドに建てた国で、

バラモン教が復興し、カースト制も強化された。そして、この頃、

① ヒンドー教の経典 [] 法典 の原形が成立した。

また、アラビア海やベンガル湾の諸都市を領有し、

② パウスト・ローマ期のローマと [] 貿易を行い、富強になり、

(モンスーン 気象)

2世紀頃全盛。その後ローマと対立し衰退。

③ 仏教では [] (漢字で []) により、[] 仏教 が興った。

(2C ~ 3C)

② [] 王国

(前255頃 ~ 前139)

中央アジアのアルタラ中心の [] 人の国。

[] から独立し、ヘシニズム文化の影響を受けた。

[] (漢字で []) に滅ぼされた。

③ [] (大夏)

たしか

前2C中頃、中央アジアに北方が侵入し、バクトリアを滅ぼす。
前1Cに、大月氏に支配された。

④ [] モンゴル高原から匈奴。その後さらに烏孫に追われて西走し、中央アジアに建国。
(前140頃 ~ 後1C) 前1Cにトハラ(大夏)を征服。

② [] 朝

(1C ~ 3C)

(現、パキスタン) (地図上②)

[] 系の王朝。[] から独立。のち大月氏に代わって西トハラ

から西北インドを支配。

3代目の [] 王はガンダーラ地方の [] を首都とし全盛!!

(位、130 ~ 170)

また、カニシカ王は仏教を厚く保護し、

[] 地方を中心に [] 文化の影響を受け、

[] 彫刻 が盛んに作られた。これをギリシア式仏教美術を [] 美術 という。

さらに [] により仏典整理を行ない、大乗仏教が確立した。

⑤ ガンダーラ美術や大乗仏教は、共に [] を通って [] → 朝鮮 → [] にも伝わった。
(絹の道)

3C、パルティアに代わった、イランの [] の侵入を受け滅びた。

ちょっと仏教

小さな乗りもの
信者のこの呼称

● [] 仏教 ([]) ...

① 個人的な修行と 個人の解脱。

書物は [] 語。

大乗経典の
の意

● [] 仏教 書物は [] 語。

① [] 信仰 による

② 全ての人を平等に救済!!

世界宗教的性格をもっている

北
伝
仏
教

マウリヤ朝の [] 王が

第③回仏典結集を行ない、保護。

王子マヘンダを遣わした [] 布教は
成功し、その後東南アジア(ビルマやタイ)
に伝播。南伝仏教ともいう

仏教教団の論争の結果、2次分裂が起り、

アーンドウ朝の仏教学者 [] が大成し、

北方に伝え、ウシャナ朝の [] 王のとき

第④回仏典結集で確立、流行。戒律にとらわれない
大衆は、その後中国、朝鮮、日本、ベトナムなどに伝播。



③ 朝 ... (華氏城)

1代目

2. サムドラウツマ

3代目
(中国名は「仏国記」より)

<特色>

① 教

① 三大神

- (暴風神)(破壊神)
- (太陽神)(思慮と世界保持の神)
- (創造神)

② ほか 法典 が完成!

③ 超日王のとき、中国(東晋)の僧 が来印。帰国後「 」の記録を残す。
(陸路で来て海路で帰る)

④ 美術 → 風の仏教美術!!

「... ヲウツマ時代は、仏教美術の最盛期であった。だが信仰としての仏教は衰退期だった。代わりにヒンドゥー教が民間信仰を、うまく取り入れ、インド社会生活習慣に合致したのだ。」

→ 代表

① 石窟寺院
② 石窟寺院

ほか

③ 僧院

梵語(サンスクリット)のことで、「完成した語」を意味する。

仏教教学の中心だった。
ウツマ朝に来印した玄奘、義浄もここで学んだ。

⑤ 文学 → ヲウツマ朝の宮廷を中心に古典文化復興がおこる!!

① 大戯曲家、詩人 の代表作品「 」など傑作!!

インドのシェイクスピアとよばれる!
カンヌツラット文学の最高峰とされる。

仙人の娘シャウタラ姫と王の
苦しい運命による恋物語。

その他、大叙事詩「 」、「 」が完成!!

さらに、医学、薬学、数学が発展。

★ その後、中央アジアの遊牧騎馬民族 が西北インドに侵入し滅亡!!

④ 朝 ... (曲女城)

1代目 (中国名)

仏教を厚く保護し、中国(唐)の僧が来印。

 僧院で
学んで帰る。

② 戒日王のとき仏典を初めて来印。
行を帰り、往復陸路。
... 西遊記のモデルになった。

王の死後来印。南海経路で
スミタラ島の 国に
寄って来印。往復海路。

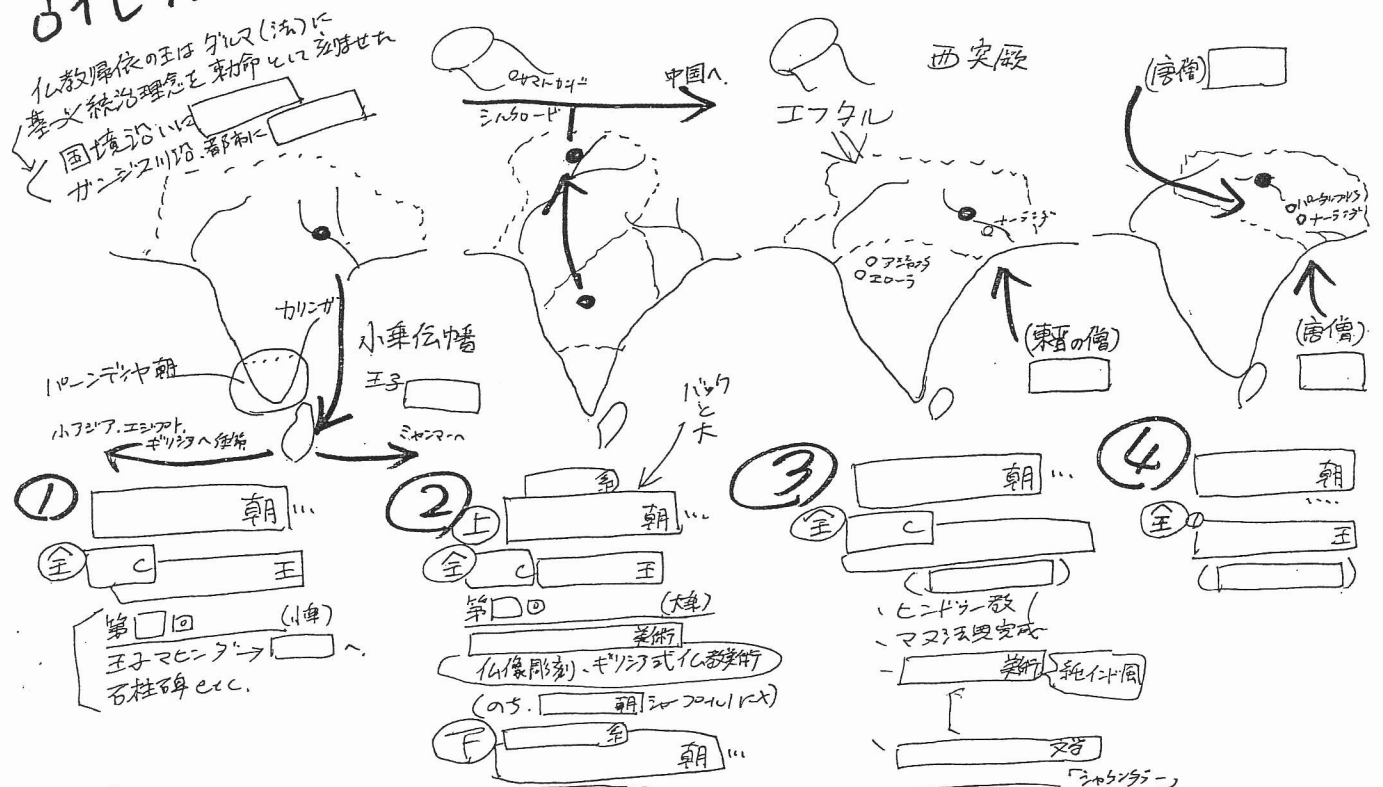
★ 王の死後、急速に衰退。崩壊。
以後、インドは分裂時代に入る。

4 ヒンドゥー教のシヴァ神
ヒンドゥー教の最高神であり、舞の
神でもある。

① アジャンター壁画

ほか、大叙事詩
「メーガロート」
(雲の使者)

古代インドまとめ...



その後...

ウラグナ朝の後、7C以降、
北インドは再び分裂！
戦国時代のカーサス＝ラジャナ
勢力の王国が分立、戦国時代
サンスクリット語で「王」の意

ラージポート時代 と 南インド諸王朝

